

事業報告書

令和7年4月1日より令和8年3月31日まで

公益社団法人 全日本書道連盟

公益目的事業1

書道に関する講演・講習会事業および地域書道団体に対する助成金給付事業

1. 講演・講習会事業

(1) 夏期書道大学講座

日 時 令和7年8月1日(金)～8月3日(日)

会 場 東京都豊島区東池袋 サンシャインシティ・コンファレンスルーム

受講者数 207名(3日間延べ)

講座内容/講師(本連盟役員が担当)

8月1日	篆書	角田 大壤 評議員	/	行書・草書	大田 鵬雨 評議員
8月2日	楷書	井上 清雅 評議員	/	かな	原 奈緒美 評議員
8月3日	隸書	山中 翠谷 評議員	/	漢字かな交じり書	赤澤 寧生 評議員

(2) 書写書道教育講演会

日 時 令和7年6月5日(木)

会 場 東京都台東区上野公園 上野精養軒・桐の間

聴講者数 118名

演 題 「学校教育における書写指導の役割 ―これからの教育現場に求められるもの―」

講 師 世田谷区教育委員会事務局 事業推進担当課長 柄澤 武志 氏

世田谷区教育委員会事務局 教育研究・ICT推進課指導主事 板垣 純子 氏

世田谷区立桜小学校 主幹教諭 田中美奈子 氏

コーディネーター 全日本書道連盟理事

元文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 長野 竹軒 氏

(3) 書道講演会

日 時 令和7年11月10日(月)

会 場 東京都港区六本木 国立新美術館・講堂

聴講者数 203名

演 題 「夢のあとさき ―明末清初における伝統の継承と再編―」

講 師 全日本書道連盟 外部監事

台東区立書道博物館 館長

鍋島 稲子 氏

(4) 文化庁「芸術系教科等担当教員等全国研修会」への講師派遣

文化庁が芸術系教科・科目の教員を対象に実施した「令和7年度芸術系教科等担当教員等全国研修会」に、講師として本連盟評議員の山中翠谷氏を派遣した。

令和7年10月3日(金) 東京学芸大学

(5) 書写書道教育確立のため、資料収集ならびに調査研究を続けている

2. 助成金給付事業

(1) 助成事業

全国書道団体の活性化、書道文化ならびに書写書道教育の充実発展に繋げることを目的とし、都道府県、市区町村等の単位で組織される書道団体が主催する講演会、講習会等の事業運営に対して助成した。

○第 50 回全日本高等学校書道教育研究会 和歌山大会【近畿ブロック大会】

日 時 令和 7 年 8 月 21 日, 22 日

会 場 和歌山県民文化会館

主催団体 全日本高等学校書道教育研究会

○千葉県高等学校教育研究会書道部会 研究協議会

日 時 令和 7 年 10 月 21 日

会 場 千葉県立佐倉高等学校

主催団体 千葉県高等学校教員研究会書道部会

○全日本書写書道教育研究会 第 65 回全国大会 (千葉)

日 時 令和 7 年 11 月 26 日, 27 日

会 場 千葉大学西千葉キャンパス (教育学部)

千葉大学教育学部附属中学校

主催団体 全日本書写書道教育研究会 第 65 回全国大会 (千葉) 運営委員会

(2) 展覧会、講習会、講演会などの事業に対する後援 152 件

会員 (維持団体、賛助団体、正会員、準会員) が主催に加わる事業に対し、無料で後援している。

公益目的事業 2

日本赤十字社への募金による社会活動への協力奉仕

(1) 助けあい募金

社会事業に役立てていただくべく、団体会員 (維持団体・賛助団体) を主な対象とし、募金をお願いした。

募金協力件数 118 件 募金総額 182 万円

本会計から加算して 200 万円とし、日本赤十字社へ「事業資金」として寄託した。

相互扶助事業 1

書写・書道教育推進協議会への協力事業、日本書道ユネスコ登録推進協議会への協力事業、福利厚生事業、会報発行事業

(1) 書写・書道教育推進協議会

同協議会構成 6 団体のひとつで、協議会事務局として活動に協力した。

学校教育において書写・書道の授業が確実に、充実した内容で実施されるよう、平成 26 年から活動が続けている。

(2) 日本書道ユネスコ登録推進協議会

同協議会発起 3 団体のひとつとして、活動に協力した。

「書道」が、国際連合教育科学文化機関（＝ユネスコ）の、「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表（＝代表一覧表）」に記載されることを目的として、平成 27 年から推進運動が続けている。

(3) 文芸美術国民健康保険組合への加入

本連盟は昭和 31 年より同国保に団体加入しており、連盟会員で、かつ書に専従する方を対象に、同国保加入の斡旋をしている。

連盟を通じて組合に加入しているもの（令和 8 年 3 月 31 日現在）

組合員	56 名	（前期比 +1 名）
家族	37 名	（同 -3 名）
合計	93 名	（同 -2 名）

かつこ内は、令和 6 年度末（令和 7 年 3 月末）との比較。

書に専従していることの確認徹底、また後期高齢者医療制度により満 75 歳になると国保へ移らねばならないこともあり、加入者は減少傾向にある。

(4) 会報の発行 3 回（第 174 号～176 号）

その他

(1) 令和 8 年 3 月 31 日現在の本連盟会員数は次のとおり

正会員	1,637 名	（前期比 -3 名）
準会員	42 名	（同 +4 名）
維持団体	16 団体	（同 変わらず）
賛助団体	152 団体	（同 -1 団体）

かつこ内は、令和 6 年度末（令和 7 年 3 月末）との比較。

(2) 役員会開催 理事会 4 回（第 192 回～第 195 回）

(3) 運営体制の充実をはかるための取組

外部理事・監事に下記の者を選任している。

外部理事 岡澤陽子

元 文部科学省 文部科学審議官 公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長

外部監事 綾部稲子

台東区立書道博物館 館長

外部理事・監事の役割を全うするためにどの様に情報提供を行っているか

通常の理事・監事と同様に理事会に参加いただき、事業執行状況につき監督を依頼している。